

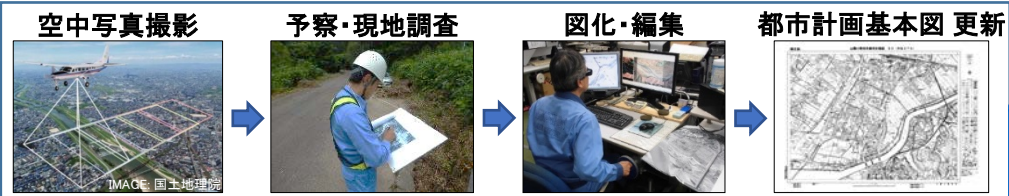
**プロジェクト名** 宇宙と地上の新しい計測手法による  
都市計画基本図更新手法の実証

**衛星データ利用者名** 山陽小野田市 建設部 都市計画課

**サービス提供者名** (一財)リモート・センシング技術センター、(株)NTTデータ、  
中日本航空(株)、(株)ニュージャパンレჯ、(地独)山口県産業技術センター

**プロジェクト概要**  
地方自治体で利用されている公共地図(都市計画基本図)の適切な頻度での更新を実現するため、マルチビューステレオ衛星画像データを活用した高精度3次元地図(AW3D)と、衛星画像データを補完する地上計測データとを組み合わせ、公共測量作業規程(準則第17条第2項)に基づく新しい測量システムとして作業手順を確立し、費用対効果の高い公共地図の更新手法としての有効性を実証する。

**導入前**



- △天候・気象条件により、撮影待機時間が発生することも
- △写真からの未判読箇所は、現地で確認して記入
- △ステレオ図化機による図化作業は、専用システム・経験技能が必須

都市計画基本図更新に公共測量作業規程 準則に定めのない新技术を使用するには、作業マニュアル・精度検証報告書等を作成し、国土地理院の確認を経る必要がある。

**導入後**



- 人工衛星が日常的に取得している画像を使用
- 全方位カメラ・ビューアを用いて現地作業の負担を削減
- 一般的なマウス操作で図化・編集が可能

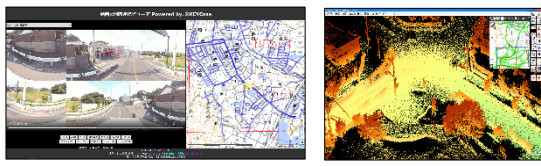
公共測量作業規程の準則に則り、新しい測量技術を使用するための**国土地理院との協議を終え、衛星画像を用いた都市計画基本図の更新が可能となった。**

**活用したデータの種類**

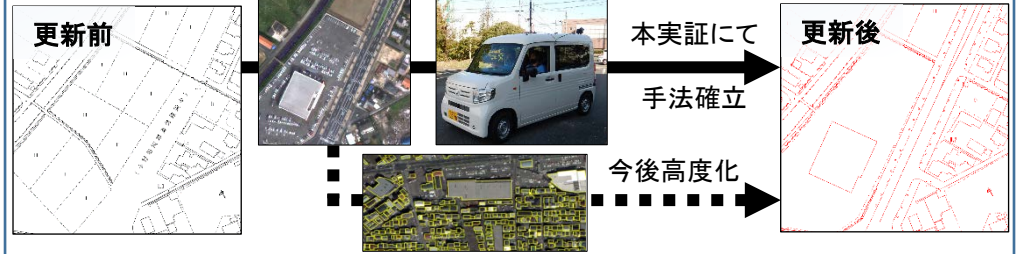
**<衛星データ>**  
マルチビューステレオ技術を用いて作成した  
高精度3次元地図(AW3D)



**<地上データ>**  
GPS内蔵360度全天球カメラ  
MMS (モバイルマッピングシステム)



**データからアウトプットへの変換イメージ**



衛星画像・車載機器の情報から地図を更新。AI活用で更なる作業負担削減も可能。

**衛星データに関する要望**

- ・衛星画像の高分解能化・撮影頻度の向上
- ・より安価な衛星画像の提供

**サービス導入による効果(定量的に)**

- ・国土地理院規定の要求精度を満たす、新しい測量技術を確立
- ・公共測量作業規程(準則第17条第2項)適用により、全国で新技术の利用が可能
- ・都市計画基本図更新にかかるコストを削減